

豊橋医療センター理念

私たちは、心のこもった 医療を提供します

豊橋医療センター基本方針

- 満足していただける医療を提供し、信頼される病院をめざします
- 基本的人権を尊重し、必要な情報を提供します
- たゆまぬ研鑽に努め、すべてにおいて良質で安全な医療を提供します
- 地域と連携し、患者さんご家族を支援します
- 安定した健全経営を維持するための努力と意識を持ち続けます



も く じ

院長の新年のご挨拶	1
脳神経外科の紹介	2
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の紹介	3
放射線科だより	4
ボランティア募集	5
看護師募集	6
外来診療担当医表	裏表紙



2024新年のご挨拶



院長 山下 克也

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さま、患者さんとそのご家族の方、そして医療スタッフの皆さま、新年を新たな気持ちでお迎えのことと思います。

3年以上にわたり私たちの健康と生活に大きな影響を与え続けた新型コロナウイルス感染症が落ち着いて、昨年5月からは感染症法2類相当から5類への扱いとなり、このお正月には、今まで会えなかったご家族と集まったり、久しぶりに旅行に行かれたりと皆さまの生活にやっと平穏が戻ってきたことと存じます。

しかしながら、社会経済活動が制限された期間を通して、日本全体、各地域で以前より抱えている種々の課題がより明確となり、前倒しで進んでいることも指摘されています。進む高齢化社会・少子化、労働人口の急速な減少、日本の経済力の低迷、日本の財政問題、エネルギー環境への対応、気候危機・多発する災害、など難題が山積しています。

豊橋市を中心とした東三河地方でも同様の課題を抱えていますが、名古屋市地域と比べてさらに人口減少社会への対応が急務です。

当院は、内科、外科、整形外科、脳神経外科などの急性期診療を担い、豊橋市内で豊橋市民病院の次に多い年間3500台の救急車を受け入れる公的救急病院の機能を果たしています。また、緩和ケア病棟や重症心身障害者病棟なども有し、災害拠点病院としての役割を担っています。

これからの時代に向けて当院は、豊橋市民病院などと密接な連携を行って業務を行い、当地域の医療・介護領域での役割をしっかりと果たして地域医療に貢献していきます。

新年を迎え、皆で気持ちだけでも明るく活動を開始したいと思います。今年は、新型コロナウイルス感染症で行えなかった健康フェスティバル、講演会など各種行事を再開し、地域の皆さまと交流を深めて、当院の姿や活動を知っていただきたいと思います。

引き続き地域の公的基幹病院として、皆さまに信頼され、地域に密着し社会に貢献できる総合病院として、当院の理念である「心のこもった医療」を提供できる病院となるように職員一丸となって頑張ってく所存です。どうぞ皆様の変わらないご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

脳神経外科の紹介

診療スタッフ

脳神経外科部長：山内 圭太（平成17年卒）

医師：伊藤 陽平（平成29年卒）

医師：山田 隆太（平成31年卒）

非常勤医師：西村 康明（昭和53年卒）

非常勤医師：酒井 秀樹（昭和62年卒）

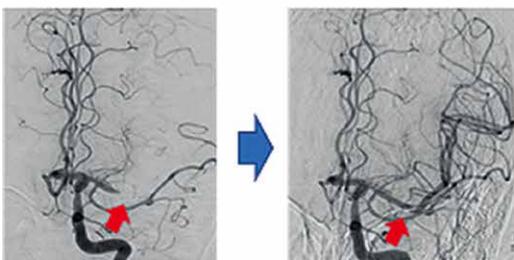
診療活動

脳神経外科では、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）や頭部外傷などの脳神経外科救急疾患が、診療の中心となっています。また、頸動脈狭窄症や未破裂脳動脈瘤の治療など脳卒中の予防を目的とした外科治療も積極的に行なっています。年間平均入院患者数はのべ約600名（脳卒中急性期は約250例）で推移しています。

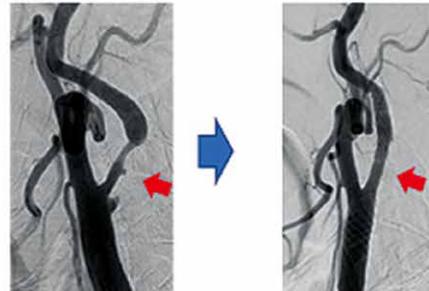
また、脳卒中診療において地域の重要な拠点病院となるよう2019年7月に脳卒中センターを設立し、同年9月に日本脳卒中学会一次脳卒中センターの認定を受けました。脳卒中センターでは、脳卒中患者さんに対して多職種（医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション、ケースワーカー）で構成される脳卒中チームを結成し、脳卒中患者さん専用の病床（脳卒中ユニット）を使用して診療に当たり、より良い医療を提供できるように心がけています。

当科では、年間150-180件ほどの手術を行っております。出来るだけ体に負担の少ない治療を心がけており、脳動脈瘤や頸動脈狭窄症に対するカテーテル治療や脳出血に対する内視鏡的血腫除去術などを積極的に導入しています。（下図）

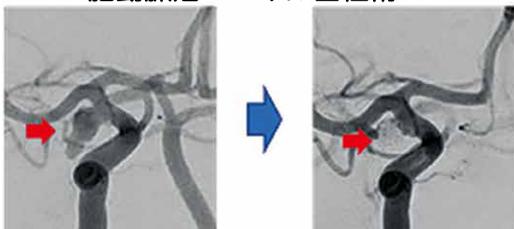
・脳梗塞：血栓回収療法



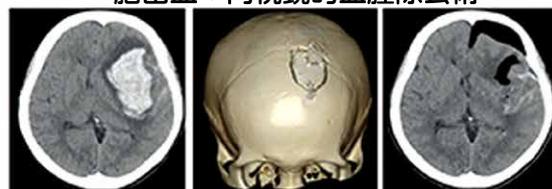
・頸動脈狭窄症：頸動脈ステント留置術



・脳動脈瘤：コイル塞栓術



・脳出血：内視鏡的血腫除去術



「脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師の活動について」

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

鱧 永 洋 亮

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の鱧永（はもなが）と申します。脳卒中の「卒」は突然、「中」はあたる（あたって倒れる）という意味があり、命にかかわる危険があります。また、突然の発症かつ麻痺などの後遺症が残る可能性がある病気です。

そういった脳卒中の患者さんを専門的・集中的に治療・看護を行うチーム医療のリーダーシップをとって活動を行っていくことが、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割です。今回はその活動についてご紹介します。

活動①：脳卒中急性期（病気になって間もない時期）においては、重症化させないように対応することが重要となります。ICU（集中治療室）の看護スタッフが学習を深め、少しの異常にもいち早く気が付き、対応できるよう関わっています。

活動②：急性期を脱した患者さんは、早期にリハビリテーションが開始されます。脳卒中の後遺症は、麻痺（まひ）や意識障害など目に見える症状だけではなく、言葉が出にくくなったり、注意力が低下するなど目に見えない症状が現れることがあります。患者さんの今後を見据えながら、残された機能を最大限に発揮できるよう、いろいろな職種のスタッフと共に対応を考え実践しています。

活動③：次はチーム医療への関わりですが、「排尿ケアチーム」において、患者さんの排尿の自立を支援したり、排尿に関連した発熱などの予防を行っています。ご家族の支援状況や、今後の患者さんの療養生活の場の状況を踏まえたうえで、患者さんやご家族にとって最善の方法を提案するよう心掛けています。

活動④：「摂食嚥下チーム」においては、脳卒中で食べることに障害が生じた患者さんに対して、できるだけ口から食事が摂れるようサポートしています。患者さんの状態を充分検討したうえで、安全を考慮し、少しでも安心して食事を摂っていただけるようにすることを大切にしています。

脳卒中は脳の障害された部分によって、その重症度や後遺症も様々です。私たちがチームに関わることで、患者さん一人ひとりを最善の状態にできるよう今後も認定看護師として貢献したいと考えています。



放射線科だより

最近「物忘れ」が気になりませんか？-フイエスラドについて

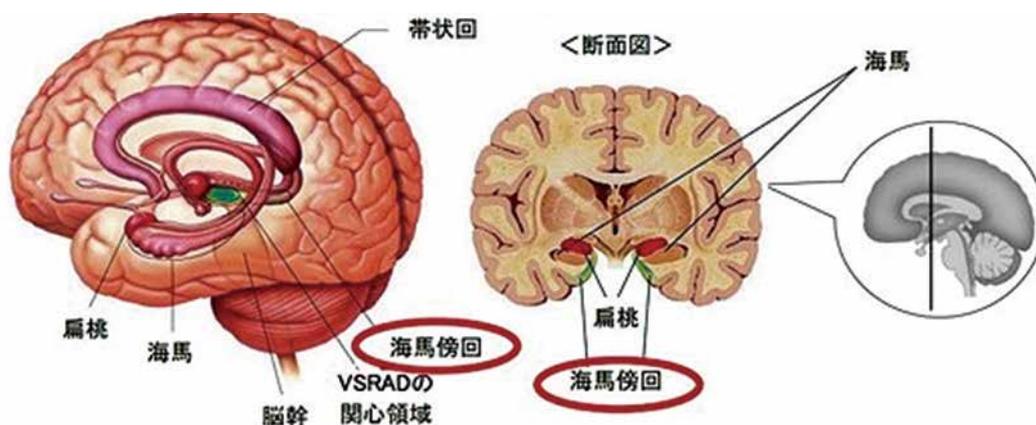
放射線科 主任診療放射線技師 藤澤 洋幸

- ・「あれ」「それ」などの言葉が多くなった。
- ・顔がわかるのだけど、名前が思い出せない。
- ・さっきまで何をしていたのか分からなくなる。
- ・どこだか分からなくなる。
- ・簡単な計算ができなくなる。

以上のような物忘れの症状が最近気になりませんか。

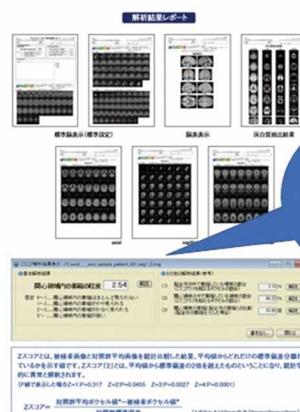
通常MRI検査と一緒に画像を撮るだけで、物忘れの原因である脳の萎縮を調べることができるVSRAD（フイエスラド）という検査があります。他の物忘れの検査よりも短時間で、MRI検査の費用だけで済みます。

MRIで得られた脳画像情報をコンピューター処理して、早期のアルツハイマー型認知症の診断支援情報を提供するもので、脳の記憶に関わる海馬傍回（かいばぼうかい）の萎縮の程度がわかります。



アルツハイマー型認知症では、海馬傍回が萎縮することがわかっているので、健康な脳の画像のデータをコンピューターで照合、解析することにより、客観的に評価できます。

認知症の診断は、医師による問診、検査（認知機能検査、心理検査、画像検査）を行い、症状を継続的に診ることにより総合的に診断されます。よってVSRAD検査だけでは診断はできませんが、物忘れを調べるきっかけにはなるとおもいます。



ボランティア



豊橋医療センターでは、病院運営にご協力していただけるボランティアを募集しています。健康でやる気のある方でしたら資格の必要はありません。はじめての方・専門的なスキルのお持ちの方のお申し出も大歓迎です!!

【ボランティアの内容】

- ★外来編・・・受付案内、正面玄関での交通整理、駐車場案内
- ★病棟編・・・イベント（演奏会、レクリエーション）
- ★その他・・・環境整備、装飾、専門的スキルを活かした活動

問い合わせ先：豊橋医療センター事務部管理課

電話0532-62-0301(代)

看護師募集!

豊橋医療センターは
思いやりのある看護を目指しています。
私たちと一緒に働きませんか。



当院は、東三河南部地域の基幹病院として、救急医療をはじめ、「がん」「脳卒中」「心疾患」「緩和ケア」「重心看護」などに貢献しています。

看護としては総合病院の強みとして、一人ひとりの希望に応じた活動場所があること、病棟全体で新採用看護師をしっかりサポートする体制が整っています。看護師としての成長、社会人としての生活の充実のために、色々な支援の制度を活用しながら、働きやすい職場になるよう努力しています。

地域医療貢献のために私たちと一緒に看護の力を発揮しませんか。処遇についてはお気軽に相談ください。病院見学も随時受け付けています。

〈問い合わせ先〉 豊橋医療センター 看護部長室

TEL : 0532 (62) 0301

メール : 314-nrdd@mail.hosp.go.jp (副看護部長)

外 来 診 療 担 当 医 表

独立行政法人
国立病院機構豊橋医療センター

令和6年1月1日～

※受付時間は、8:30～11:00 (再診予約専用電話 0532-62-1087 平日13:00～15:00) 電 話 : 0532-62-0301

曜 日		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内 科	⑩ 第1	膠原病リウマチ内科 横井		一般内科 豊住		膠原病リウマチ内科 横井		一般内科 豊住		膠原病リウマチ内科 横井	
	⑩ 第2			一般・腎臓内科 野口		第2・4水曜 腎臓 鳥山		一般・腎臓内科 野口		一般内科・血液内科 恵美	
	⑩ 第3	一般内科 豊住		第3火曜 代謝・内分泌 武内		一般内科・呼吸器 桐岡		糖尿病・内分泌 内藤			
				第3火曜以外 代謝・内分泌 濱嶋						14:00-15:00 肺炎球菌予防接種 (要予約)	
脳神経外科	⑭	初診、予約外 伊藤陽		西村		初診のみ 交代制		酒井秀		初診、予約外 山内	
	⑮	山内		初診、予約外 山田隆				初診、予約外 山田隆		伊藤陽	
神経内科	⑮										
循環器科	⑯ 第1	小林		岡田		第1・2・5週 横家 横家		横家		横家	
	⑯ 第2					柴田理				後藤	
	⑯ ペースメーカー					第3・4週 横家					
心臓血管外科	⑰	第1・3・5月曜 10:00開始 鷺山									
		第2・4月曜 10:00開始 高橋									
整形外科	⑰ 第1	初診、病診連携 稲本		初診、病診連携 成瀬		加藤		稲本		初診 上用	
	⑱ 第2	成瀬		竹内		初診、病診連携 奥村		初診、病診連携 肩、肘スポーツ 竹内		奥村	
	⑱ 第3	予約制 治験外来		柴田康		人工膝関節専門外来 交代制				初診、病診連携 加藤	
	⑰ 第4										
眼 科	⑲	予約外は受付10:00まで 大高		予約のみ 大高		清水桃		検査のみ 清水 清水			
耳鼻咽喉科	⑳	山口		山口		山口		山口		山口	
歯科口腔外科 (予約のみ)	㉒	湯浅		湯浅		湯浅		湯浅		湯浅	
精神科	㉓	鶴生				鶴生		杉浦		(心療内科) 鶴生	
外 科	㉔ 第1	伊藤武		緩和ケア 越川		緩和ケア 越川		山下		安藤	
	㉔ 第2	大本		稲岡		伊藤武		緩和ケア 越川			
	㉔ 第3			10:00開始 安藤		外科/消化器 市原		乳腺専門外来 稲石			
	㉔ 第4										
消化器科	㉕	山下 (予約枠は担当医師)				第1・3・5水曜 浅井				予約のみ 交代制	
呼吸器外科	㉖										
呼吸器科	㉗	桐岡				第1・3水曜 三上		速井		桐岡	
産婦人科	㉘	杉原		杉原		太田		杉原		杉原	
泌尿器科	㉙			日下		小嶋		河合			
皮膚科	㉚	予約のみ 羽根				白田		予約のみ 滝			
小児科	㉛ 第1	慢性疾患のみ 西田 鈴木清		鈴木清		慢性疾患のみ 西田 西田		慢性疾患のみ 鈴木清 西田		慢性疾患のみ 西田 鈴木清	
	㉛	13:30-14:30 予防接種 (要予約)		13:30-14:30 乳児検診 (要予約)							
放射線科	㉜			放射線治療 永井							